

「もんじゅ」サイトの新試験研究炉計画の実施主体候補について（案）

令和 4 年 12 月 13 日
科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会
原子力科学技術委員会
原子力研究開発・基盤・人材作業部会

原子力研究開発・基盤・人材作業部会におけるこれまでの議論を踏まえ、「もんじゅ」サイトの新試験研究炉計画の令和 5 年度以降の実施主体候補について、以下のとおり見解を取りまとめた。

- 「もんじゅ」サイトの新試験研究炉計画については、本作業部会において炉型の絞り込み等に関する議論を行い、西日本における原子力分野の研究開発・人材育成の中核的拠点としてふさわしい機能の実現、地元振興への貢献の観点から、中性子ビーム利用を主目的とした中出力炉が最も適切であるという方向性を示したところ。
- この方向性を踏まえ、令和 2 年度以降、文部科学省委託事業として、我が国唯一の原子力の総合的研究開発機関である日本原子力研究開発機構（JAEA）（代表機関）、京都大学（参画機関）、福井大学（参画機関）が中核的機関となり、着実に概念設計、運営の在り方、人材育成及び地元関係機関との連携等についての検討が進められている。
- これまでの実績を踏まえ、今後詳細設計に入る段階で、JAEA が実施主体となり、引き続き京都大学、福井大学の協力を得つつ、学术界、産業界、地元関係機関等から幅広い意見を集約しつつ設計を進め、計画を推進していくことが適切である。
- なお、本試験研究炉計画は平成 28 年 12 月の原子力関係閣僚会議において決定された「『もんじゅ』の取扱いに関する政府方針」に基づくものであり、立地地域との共創により、長期的な利用基盤形成を図ることで新しい社会的価値を発現するモデルとなることが望まれる。